

市民の生命と財産を守るために

# 仙北市消防出初式

1月6日、仙北市消防出初式が仙北市民会館で開催され、団員や関係者などおよそ250人が参加しました。昨年と同様に例年行われている分列行進や観閲式などは新型コロナウイルス感染症の影響により行われず、式典のみの開催となりました。

式典で田口知明市長は「市政理念である幸福度全国ナンバーワンの仙北市の実現に向けて、子ども高齢者も市民誰もが安全、安心に暮らせるまちづくりがスタートとなる。団員の皆さまには、仙北市消防団としてその結束をさらに強く結び合い、市民と市民生活を守る消防精神を堅持し、一層活動に精進してほしい」と式辞を述べました。

渡辺勇悦仙北市消防団長は「今後、いつ何時起こるかかわからない様々な災害に対して地域の安全を確保し、市民の生命・財産を守るため、より一層の消防力強化に励んでいかなければならない」と訓示を述べました。



新入団員の紹介も行われました。



式典では各章の表彰が行われました。



## 表彰受章者

(敬称略/所属)

### 〈秋田県知事表彰〉

〔有功章〕

- ▼佐藤一美(第5分団) ▼丑澤司(第2分団) ▼草薮賢一(第3分団)
- ▼三浦嘉秋(第4分団) ▼武藤敏文(第6分団) ▼新山博毅(第7分団)

### 〔永年勤続章(40年以上勤続)〕

- ▼佐藤一(第6分団)
- 〔永年勤続章(35年以上勤続)〕
- ▼伊藤一美(第3分団) ▼地主昭仁(第2分団) ▼藤村治彦(第4分団) ▼藤本政則(第10分団) ▼藤井行忠(第4分団)

### 〔永年勤続章(30年以上勤続)〕

- ▼高橋信悦(第3分団) ▼若島弘明(第7分団) ▼小田島剛(第4分団) ▼林崎正紀(第9分団)

### 〔永年勤続章(25年以上勤続)〕

- ▼佐藤豊紀(第8分団) ▼崑山弘美(第3分団) ▼阿部慶之(第9分団) ▼山本茂(第7分団) ▼高階貴与士(第1分団) ▼浅利寿博(第6分団) ▼小林貞夫(第6分団) ▼高村賢一(第8分団)

### 〔永年勤続章(20年以上勤続)〕

- ▼田口芳憲(第2分団) ▼藤元誠(第8分団) ▼高橋清人(第8分団) ▼雲雀明德(第8分団) ▼佐藤大志(第1分団) ▼櫻田大介(第1分団) ▼佐藤善仁(第3分団) ▼津嶋直樹(第4分団) ▼原秀彦(第8分団) ▼渡邊文雄(第8分団)

### 〈仙北市長表彰〉

〔功労章〕

- (26年以上勤務で階級が班長以上) ▼堀内新平(第1分団) ▼柴田尚紀(第1分団) ▼池田茂男(第2分団) ▼高橋敦(第4分団)

### 〔功績章(15年以上勤務)〕

- ▼高橋和彦(第8分団) ▼黒澤武彦(第10分団) ▼鈴木康規(第3分団) ▼高橋将(第4分団) ▼蘭藤正義(第5分団) ▼稲葉聡(第1分団) ▼鈴木隆二(第3分団) ▼田口茂春(第4分団) ▼嶋村裕太(第5分団) ▼櫻田優(第5分団) ▼門脇光助(第5分団) ▼野口洋介(第6分団) ▼戸嶋大輔(第7分団) ▼鎌田徹(第8分団) ▼山形文太(第9分団)

### 〔無火災分団)〕

- ▼第1分団(2年間無火災) ▼第8分団(2年間無火災) ▼第6分団(1年間無火災)

### 〔感謝状〕

- ▼油谷重和

### 〈秋田県消防協会長表彰〉

〔勤続章(10年以上勤続)〕

- ▼真崎芳宏(第4分団) ▼永井孝則(第2分団) ▼角田孝志(第2分団) ▼樋口健二(第3分団) ▼齋藤隆伸(第6分団) ▼辻薫(本部) ▼阿部康広(本部) ▼伊藤誠司(第1分団) ▼伊藤愛弓(第1分団) ▼高田将之(第2分団) ▼田口恭平(第3分団) ▼田口友也(第3分団) ▼田中弘正(第3分団) ▼門脇祐二(第4分団) ▼新山清和(第5分団) ▼菅原和美(第8分団) ▼草薮吉憲(第8分団) ▼木村貴則(第8分団)

### 〈秋田県消防協会 大仙北美郷支部長表彰〉

〔精進章(7年以上勤続)〕

- ▼浅利健男(第1分団) ▼阿部千晶(本部) ▼伊藤広幸(第1分団) ▼堀川凌(第1分団) ▼中島亮太(第1分団) ▼浅利孝宏(第1分団) ▼松尾勇一(第2分団) ▼田口拓弥(第3分団) ▼新山良和(第4分団) ▼吉村陽介(第4分団) ▼荒澤勇希(第4分団) ▼清水翼(第4分団) ▼奥淳治郎(第4分団) ▼西宮裕哉(第5分団) ▼武藤慈(第6分団) ▼崑山裕輔(第6分団) ▼佐藤麻美(第7分団) ▼富岡達也(第9分団) ▼鈴木邦尚(第9分団) ▼辻吉広(第9分団) ▼菅原龍哉(第9分団) ▼大澤和樹(第10分団) ▼田口晃(第10分団) ▼戸澤政一(第10分団) ▼戸澤和美(第10分団) ▼鈴木達也(第9分団)

### 〈仙北市消防団長表彰〉

〔精進章(3年以上勤続)〕

- ▼鈴木大祐(第9分団) ▼羽川翔斗(第1分団) ▼浦山友太(第3分団) ▼田口幸栄(第3分団) ▼高橋吉一(第3分団) ▼佐藤春美(第3分団) ▼佐藤善祐(第3分団) ▼藤川啓吾(第4分団) ▼安藤爽真(第4分団) ▼高橋凌(第4分団) ▼関谷政幸(第6分団) ▼阿部晃之(第6分団) ▼高橋優太(第7分団) ▼草薮明(第8分団) ▼草薮紀聡(第8分団) ▼相馬健(第8分団) ▼佐々木貴也(第8分団) ▼鈴木達也(第9分団)

## 家族留学

# 秋田の教育・暮らしを体験

秋田県の教育を体験する家族留学が1月7日から3日間の日程で仙北市で実施されました。家族留学とは、県外の小・中学生が家族で市内を訪れ、全国トップレベルの学力を生み出す「探究型学習」を体験するほか、観光や田舎暮らしを体験するもので関係人口を増やすことも一つの目的です。



自分が作った学習問題の解決方法を話し、書き込んでいく児童たち。

参加したのは千葉県在住の石嶋さんご家族。優紀さん、中学1年生の丈翔さん、小学5年生の七聖さんです。生保内小学校の児童4人も参加して、学習や交流を深めました。

初日には、早速「探究型学習」を体験。「田沢湖ってどんな湖?クニマスってどんな魚?」をテーマに話を聞き、わかったことや疑問に思ったことを付せん書き出し、みんなで共有します。これをもとに、「どうしたらクニマスが泳げる田沢湖にできるか」「透明度はどうやって戻せるか」「田沢湖の名前の由来は」など、自分が探究していく学習問題を作りました。

2日目は、たざわ湖スキー場でスキーを楽しんだ後、田沢湖クニマス未来館へ移動。前日に作った学習問題を解決するために館内をくまなく調査しました。自分で課題を見つけ、解決方法を探し、みんなに伝えて、まとめ・振り返りをする「探究型学習」によって、児童たちは田沢湖やクニマスについての理解を深めました。

最終日には、わらび座劇団員によるソーラン節の指導や餅つき体験、角館武家屋敷通りの散策などを行い仙北市を堪能する3日間の日程が終了。

3日間を過ごした感想をお伺いすると優紀さんは「皆さん温かく迎え入れてくれて、緊張感なく過ごすことができました。観光名所も季節によ

て違い飽きずに遊ぶことができる」、丈翔さんは「初めてのスキーも上手になった。友だちもできて楽しかった、七聖さんは「みんなで楽しくいろんなことを体験できてうれしかった」と満足した様子でした。3人は「また仙北市に来てくれますか」の問いに「里帰りみたいにまた来たらいいな」「また来たい!」と笑顔で答えてくれました。



踊りの休憩時間は、初めての雪遊びに夢中。



わらび座劇団員による、本格的な指導。

科学って楽しい!

# ちびっこなぜ?なぜ??サイエンス



紙コップ、上手に飛ばすかな?!

1月12日、冬休み中の小学生を対象に実験などを通して科学の楽しさを体験してもらおうと「ちびっこなぜ?なぜ??サイエンス」が西木総合開発センターで開催され、市内小学生6人が保護者とともに参加しました。

開催は昨年の夏休みに続き2回目。北浦教育文化研究所の伊藤昭光所長が講師となり「生きている?動くスライムづくり」「空飛ぶ紙コップ!」をテーマに子どもたちは実験に取り組みました。

まずはじめに水、洗濯のり、ホウシヤ液、砂鉄を使って動くスライムづくり。スライムの硬さの調整が難しそつでしたが、手際よくつくっていきます。できあがったスライムに磁石を近づけると

動く様子が子どもたちは夢中になっていました。

続いて空飛ぶ紙コップづくり。用意された紙コップ2個の底をテープで貼り合わせ完成。それに輪ゴムを巻きつけ、手を離すと飛んでいきます。飛ばし方のコツをつかむと子どもたちから「飛んだ!」の声が上がりました。そのほかにもブーメランやロケット型の風船をつくり、飛ばした子どもたち。つくる楽しさとワクワクしながらそれを試す様子が伝わってきました。

参加した角館小学校2年の遠藤生さんは「初めてで難しそつだと思っただけ、簡単にできてとても楽しかった。おうちでも遊びたい」と話しました。

角館  
ミニ劇場

魅了する重奏（アンサンブル）  
オカリナコンサート

12月26日、角館庁舎でオカリナサークル「サクラ＆コスモス」の皆さんによる角館ミニ劇場「オカリナアンサンブルコンサート」が開催されました。オカリナサークルの皆さんは3人から4人1組のチームとなつて演奏が行われ、訪れたおおよそ30人が音色を楽しみました。



華やかな音色を披露しました。

なかなか聴く機会が少なくオカリナの演奏。第一部では名曲の部と題して「アメージング・グレイス」など4曲、第二部では自由曲の部と題して「ひこうき雲」など5曲を披露しました。観客からはアンコールの声が上がリ、最後は講師である桜田友子さんが即興で披露するなど、オカリナの音色を堪能した1時間でした。

友人が演奏すると聞いて訪れた方にお話を伺うと「お茶会などの集まりで聴いたことがあったが、皆さんの前で披露する姿、音色にとっても感動した」とうれしそうに話

してくれました。講師の桜田さんは「生徒の皆さんのセッションにより音色が合わさっていてよかった。これを機会にたくさんの方にオカリナという存在、音色を知ってほしい」と話しました。

また、オカリナ歴6年になる嵯峨洋子さんは今回の演奏について「たくさんの方に聴いてもらって緊張した。素朴な音色だけでも出ることを知ってもらえたのではないかなと思う。今回の演奏を聴いてオカリナに興味をもってもらえたらいい」と振り返っていました。

次回の角館ミニ劇場は2月27日(日)に昔話語りとサクソコンサートを開催予定です。詳細は次号に掲載します。お問い合わせは文化創造課（☎43・3302）まで。

栄光・表彰 ～輝くとき

秋田の原風景を守り継ぐ優良表彰  
大宮田向集落協定が  
仙北支部長賞を受賞

12月23日、仙北地域振興局で開催された「秋田の原風景を守り継ぐ優良表彰」で大宮田向集落協定の皆さんが仙北支部長賞を受賞しました。

同表彰は、中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地維持や農業・農村の多面的機能の発揮に向けた共同活動に取り組んでいる組織の中で、他地域の模範となる活動を展開し、顕著な実績を上げている組織を表彰するものです。

平成14年から活動を開始した同組織には、田沢湖生保内地区の大宮・田向集落の住民と農地の耕作者が構成員として参加しており、平地に比べて急勾配な農地約25haの多面的機能の維持に係る活動に取り組んでいます。

今回の受賞において、同組織の農地・農業施設の維持に関する活動のほか、郷土芸能の継承活動や同組織と地域の農業法人・建設業者・若手農業者が協賛・協力して毎年開催している「秋



受賞した大宮田向集落協定の荒木田俊一代表（左）と会計書記の畠山靖さん（右）。

の収穫祭」などの催しを通じて組織の活動を広く普及・啓発を行っていることが高く評価されました。

受賞にあたって同組織の荒木田俊一代表は「中山間地域では、農業者の高齢化や担い手の減少、荒廃農地の増加などが課題となっている。今後も、地域の農村環境を維持していくために地域住民の皆さまからのご理解とご協力をいただきながら活動を継続していきたい」と話しました。

安心して学べるように  
ダイナム秋田中仙店が  
光触媒スプレーを寄贈

1月7日、株式会社ダイナムのダイナム秋田中仙店より角館小学校と白岩小学校へ光触媒スプレーを寄贈いただきました。

善意ありがとうございます



左から須田教育長、白岩小学校の福原校長先生、角館小学校の梁田校長先生、ダイナム秋田中仙店ストアマネージャーの吉田将弥さん。

1月7日、株式会社ダイナムのダイナム秋田中仙店より角館小学校と白岩小学校へ光触媒スプレーを寄贈いただきました。

このスプレーはコーティングしたところに光が当たることで除菌や消臭効果を発揮するもので、同店ストアマネージャーの吉田将弥さんは「子どもたちの安心感や日常生活を取り戻す手助けになれば」と両校の校長へ目録を手渡ししました。角館小学校の梁田校長先生は「いすや机を消毒することで子どもたちには安心感を持ってゆつくり楽しく学んでもらいたい」と話しました。



従業員の皆さんが一つひとつ丁寧に塗布作業を行いました。

ご寄贈ありがとうございます  
田沢湖庁舎の応接室に  
新しい応接セット

この度、新市長の就任を祝う有志の会（代表・佐藤貢一郎さん）と新市長を応援する会（代表・中村猛留さん）の皆さんが気持ちよくお客さんを迎えてほしいとの思いから、ソファとテーブルの応接セットをご寄贈くださいました。市役所田沢湖庁舎の応接室に設置しています。また、市長の執務用のいすもご寄贈いただきました。ありがとうございます。



寄贈いただいた応接セット。



新市長の就任を祝う有志の会の佐藤貢一郎さん（右）から。



新市長を応援する会の児玉修さん（中央）と中村猛留さん（右）から。